

看護・介護を充実させて あなたの人生を支えます!

いしだ 昌宏
石田まさひろ

看護師・保健師
自民党参議院比例区支部長



- 1967(昭和42)年、奈良県大和郡山市生まれ
- 兵庫県の甲陽学院高等学校卒業
- 東京大学医学部保健学科卒業
- 看護師として聖路加国際病院他で勤務
- 日本看護協会、日本看護連盟で勤務
- 家族:妻・子供2人
- 趣味:観賞魚飼育、神社巡り、読書

看護・介護は、高齢社会を支え、地域を守る最後の砦。
超高齢社会で豊かな人生を送るために欠かせません。

石田昌宏が取り組む 4つの重点課題

1 健康

生涯元気でありつづけるために、「健康」をキーワードに医療、保健、環境、食などの環境づくりに取り組みます。

2 福祉

誰もが住み慣れたまちで暮らし続けるために、医療、介護、福祉を一体化させ地域ケアの充実に取り組みます。

3 子育て

子どもたちの笑顔あふれる未来のために、保育、教育、女性の労働など、トータルで安心な子育て支援の充実に取り組みます。

4 雇用

若者も、高齢者も、障がい者も、女性も生きがいを持って働き続けるために、就労支援の充実と働きやすい環境づくりに取り組みます。

**最後まで看護職が
お世話できる仕組みが
必要です。**
国は急性期医療の入院期間の短縮化を進めていますが、退院後の行き場所が足りません。急性期医療から後方病院や療養病床、介護保険施設、そして在宅へとつなぐトータルな「将来の居場所」づくりを!

**介護施設も
看護職も
不足しています。**
家庭でのケアが難しい現代、看護・介護のサポートは不可欠です。しかし医療の現場は過酷で離職率が高く、現実には深刻な人材不足。まずは看護・介護職が長く働ける環境の改善を!

**もし、あなたの街に
ナースステーションが
あったら?**
「最後は自宅」を可能にするには、訪問看護やデイケア、ショートステイなど、在宅生活を支える看護や介護の早急な充実が不可欠です。街や村の中にナースステーションを!

**災害時の
看護は
どうするの?**
3・11の際、被災地に駆けつけた看護職は大勢いました。しかし目の前にいる自分の職場の患者を置いて行くわけにはいきません。災害時の公的な看護職の支援体制・派遣制度の整備を!

選挙の豆知識

みなさんは、参議院議員選挙のことを どれくらい知っていますか?

参議院議員通常選挙とは

参議院の基本をおさらい

参議院議員の半数を選ぶための選挙です。参議院に解散はありませんから、常に任期満了(6年)によるものだけです。ただし、参議院議員は3年ごとに半数が入り替わるよう憲法で定められていますので、3年に1回、定数の半分を選ぶことになるのです。

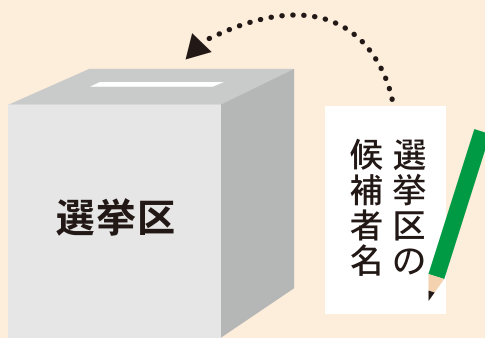
参議院	定数	242人 (選挙区146人/比例代表96人)
	任期	6年 (半数を3年ごとに改選)
	選挙区制/比例代表制	(非拘束名簿式比例代表制)

投票の仕方

参議院議員通常選挙は、選挙区選挙と比例代表選挙からなりますので、2つとも投票しましょう。

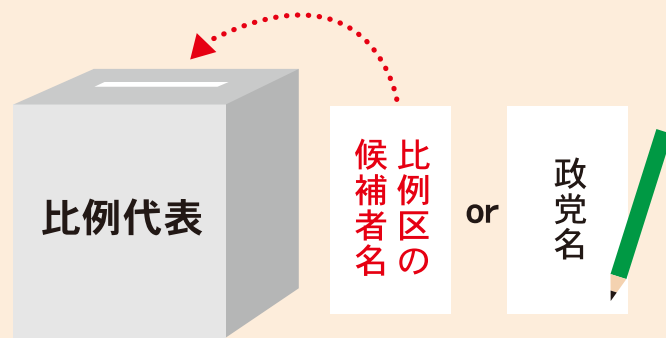
◆◆◆ 参議院議員通常選挙の投票の仕組み ◆◆◆

1枚目：選挙区選挙の投票



※各都道府県単位で立候補している候補者名を書きます。

2枚目：比例代表選挙の投票



※住んでいる地域に関係なく、比例代表名簿の候補者名、または政党名を書きます。

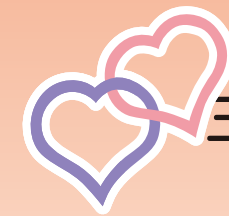
Libre May2013より抜粋

投票日に投票できないときは?

投票日に、「仕事や旅行などの予定がある。」という方は、期日前投票制度等を利用できます。

●期日前投票 大いに活用しよう!!

- 投票できる日** 公示日の翌日から投票日の前日まで
- 投票できる時間** 投票時間は投票所により異なる
- 投票できる場所** 【期日前投票】
・選挙人名簿に登録されている市区町村の期日前投票所
- 持参するもの** (すでに届いていれば)投票所入場(整理)券



平成25年6月20日 第16号

三重県看護連盟だより

石田まさひろ 特集号



看護の力が日本を元気にする!

アンフィニ 2013年新春号

討議資料



石田まさひろメールマガジンのご購読を

石田まさひろの政策・信条と注目のニュースを掲載。
石田まさひろの最新情報が届きます。
info@masahiro-ishida.jpにメルマガ希望とお送りください。



発行所：三重県看護連盟
〒514-0062 三重県津市観音寺町字東浦457-3
TEL：059-226-0862 FAX：059-226-0887
E-mail：kanren-mie@muse.ocn.ne.jp
HP：http://www.kanren-mie.jp
発行人：松井 惟子

石田まさひろさんへのインタビュー



青年部実行委員

Q 三重の印象は…

A 小さい時に旧久居市に住んでいたこともあり身近に感じています。神社好きとして譲れないのが伊勢神宮。さらに斎宮は、皇族の女性たちとの心の奥を想像させる神秘的な場所です。伊賀の一宮、敢国神社も興味深い。僕の生まれた奈良県と伊勢をつなぐ魅惑の地にあります。語り始めたら止まらなくなりそうです！

Q 人生の転機になったきっかけは…

A 故見藤隆子先生に出会ったことです。彼女の授業を聞いて看護の道を意識しました。看護師として働き始める直前に彼女に言われたのは「あなたは看護の実践をしっかりとやるだけではだめだ。常に看護全体を考えなさい。それは今の看護だけでなく、子供達の孫達の看護のことまでです」こう言われました。振り返ってみると僕は看護協会や看護連盟での仕事を通じそれをしてきました。

Q テーマカラーの由来は…

A 赤は熱伝導の色であり、南野知恵子さんが守り続けた色です。先人の想い受け継ぎ、後輩に熱意を持って伝えていきたいです。



藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 事務部長・看護副部長

今後の慢性期医療に対して現場からの情報を管理者から吸い上げます

応援メッセージ



三重県看護連盟 松井 惟子会長

新緑から真夏日へ、光陰矢の如しと云える日々でございます。会員の皆様には、その後お変わりございませんでしょうか。石田まさひろ氏は、ホップ、ステップ、ジャンプと3段階のスケジュールによる全国遊説も終盤を迎えました。当県においては、過日（5月1日）にジャンプの「総決起集会」を盛会裏に終えた所です。「看護の力が日本を元気にする！」一国民が安心して暮らせる社会づくりを目指して一この素晴らしいキーワードが実現できるように、看護連盟は全力で石田まさひろ氏を応援しております。県下の看護職が一丸となって目標達成に向けて頑張りましょう。



平成25年4月30日



いなべ総合病院



日下病院



ヨナハ総合病院



ナーシングホームもも



菰野厚生病院



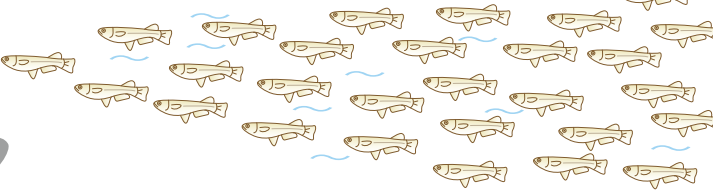
三重聖十字病院



パークヒルズ高塚



鈴鹿厚生病院



ジャンプ

平成25年5月1日



応援メッセージ



参議院議員 高階 恵美子



暑い夏の日が近づいてまいりました。今夏は新たな看護職代表の誕生に向けて皆様と結束を強める好機を迎えています。看護の精神を貫き一糸乱れずお支えくださる皆様の日々のご厚情に深謝しつつ、必ずやその願いが叶うよう、私自身も皆様と心を一に行動してまいります。現在、社会保障制度改革の審議が進められていますが、看護を通して国民の痛みや苦しみを知り、看護を通して国民の願いを叶える努力を惜しまない看護職だからこそ、誰よりも敏感に現実的な社会保障制度上の課題と効果的な解決策を感じ取っているものと確信しています。だからこそ、良識の府に籍を置き、自らの言葉で社会保障のこれからを説き、次代を生きる人々のために、臨床の第一線が生き生きと輝くような制度的基盤を創り上げることのできる政治の窓口が、ぜひとも必要だと願っています。いよいよ私たちの熱い思いを結集させ、新たな糸口を切り拓くときです。いま社会が、生きる力を創り出す牽引力を求めています。ひとの生きる力を守る看護の技を存分に発揮して、私たちの意思を示して参りましょう。これが私たちの「イシダ！」。お互いの結束を強く。ともががんばりましょう。